

# 法と実務

日弁連法務研究財団 編

12

地方行政における法曹有資格者の活用に関する研究  
—任期付弁護士を中心として—

..... 大杉 寛ほか

報告書 民事保全事件における保証金の立担保を  
支援する制度の創設に関する研究

..... 秋山清人

英国視察報告書「イングランドの入管収容施設及び  
制度の現状と課題」

...「イングランドの入管収容施設及び制度の現状と課題」研究会

市民に分かりやすい刑事裁判に関する研究：  
殺意の認定を中心として

..... 大河原真美ほか

放射線被ばくによる健康障害と低線量被ばくにおける  
放射線起因性の立証

..... 山崎 進

商事法務

## 第1 本研究会のメンバーと活動概要

### (1) 本研究会のメンバー

- 秋山清人 (第二東京弁護士会 本書「はじめに」「終わりに」担当)  
小林美智子 (第一東京弁護士会 同「第8」担当)  
石井逸郎 (第二東京弁護士会 同「第1」「第2」担当)  
井上恵子 (第二東京弁護士会 同「第4」担当)  
山下典孝 (大阪大学大学院高等司法研究科教授 同「第7」担当)  
李芝妍 (東洋大学法学部准教授 同「第3」担当)  
小柳雅一 (損害保険ジャパン日本興亜株式会社 同「第5」担当)  
松尾慎太郎 (損害保険ジャパン日本興亜株式会社 同「第5」担当)  
桜井康統 (第二東京弁護士会 同「第6」担当)

### (2) 活動概要

以上の研究会のメンバーによって、これまで以下のとおりの研究会を開催している。

2014年1月15日 第1回 顔合わせ

同年1月31日

同年3月12日

同年4月25日

同年5月28日

同年6月20日

同年7月28日

同年9月12日

同年11月21日

同年12月19日

2015年1月23日

同年2月20日

同年3月31日

## 第2 韓国視察調査に至る経緯と日程

本研究会では、【はじめに】で述べたとおり、我が国の民事訴訟制度の更なる活性化のためには民事保全利用のための資金面での支援制度創設が望ましいと考えた。我が国では、金融機関の支払保証委託（ボンド）の制度があるが、保証金と同額の預金を積むよう要求されるため、昨今は利用が激減したようであり、かつて存在した法律扶助協会による援助制度もなくなっている。これに対し、韓国では、我が国とほぼ同様の民事保全制度でありながら、保証金の供託について、日本とは異なり、保険会社が、当該民事保全を申し立てた債権者の要請に応じ、特段、同額の預金等の担保を求めることなく、支払保証委託契約を締結して支払保証委託契約書を「供託保証保険証券」として発行し、この証券の供託をもって保証金の供託とするというシステムが既に大々的に実施されていて、その結果、民事保全制度の活性化につながっているという。そのため、韓国に、その運用状況を視察に行くこととなった。

そこで、まずは、供託保証保険証券を発行している保険会社と、弁護士の中核団体である大韓弁護士協会（以下、「大韓弁協」という。）を訪問することとした次第である。

なお、当初は、保全命令を出すに際し、供託保証保険証券での供託を許可する裁判所側の運用基準等も視察するべく、韓国大法院もしくはソウル中央地方法院への訪問も検討したが、先方の事情により、実現しなかった。

そこで、以下の訪問団及び日時において、ソウル保証保険株式会社及び大韓弁協との協議会を、事前に質問事項を送付した上で、開催した。

（訪問団）

- 団長 石井逸郎（第二東京弁護士会）
- 副団長 小林美智子（第一東京弁護士会）
- 井上恵子（第二東京弁護士会）
- 山下典孝（大阪大学大学院高等司法研究科教授）
- 小柳雅一（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）
- 松尾慎太郎（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）
- 桜井康統（第二東京弁護士会）

（訪問日時）

- 2014年7月2日 午後1時 ソウル保証保険株式会社
- 同月3日 午前10時 大韓弁協

なお、事前に送付した質問事項とそれに対して先方が準備してくれた回答資料、並びに当日の協議会の議事録は、末尾添付にある。





ソウル保証保険株式会社との懇談会後の集合写真



大韓弁協との懇談会後の集合写真